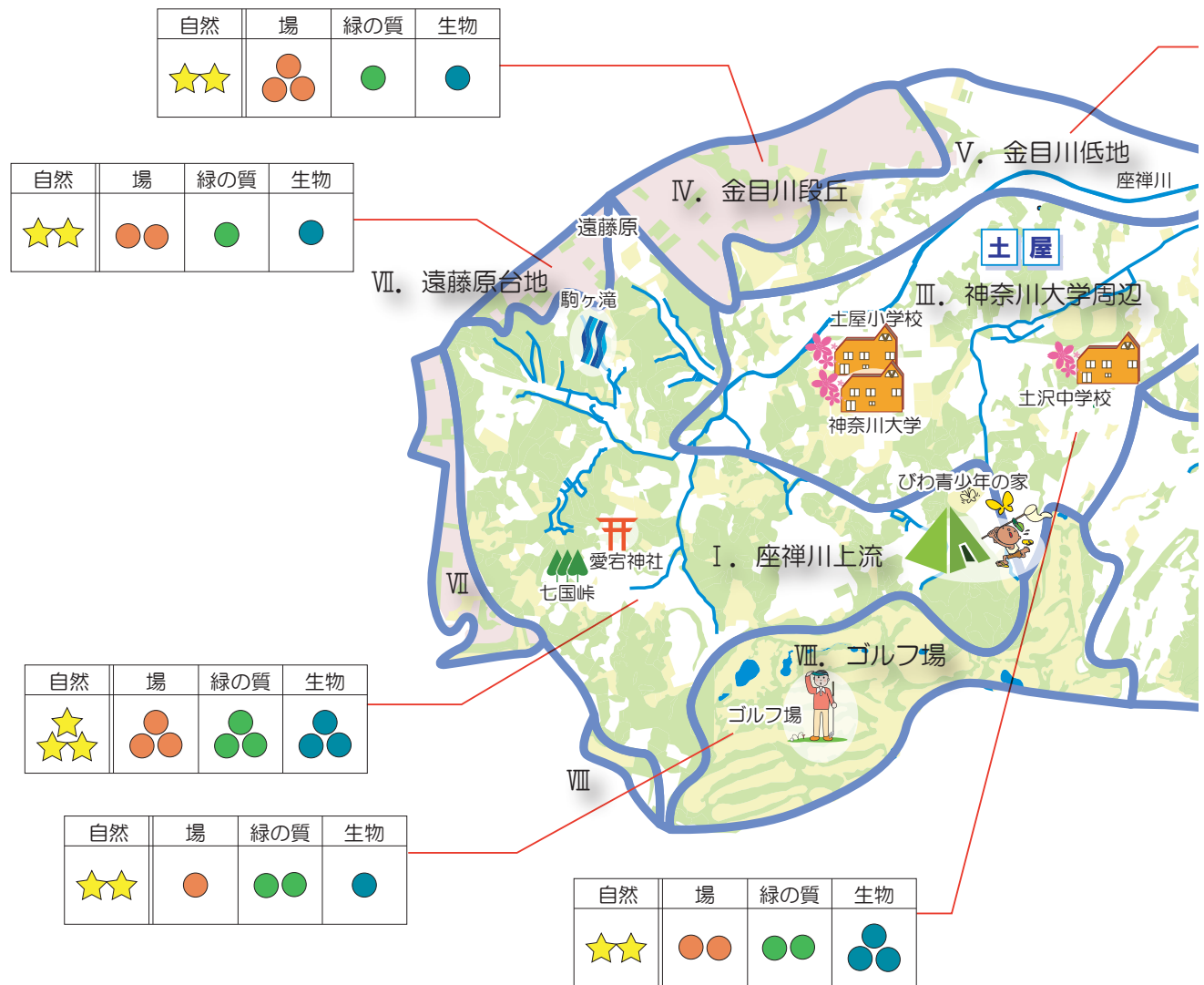


# 7. まとめ

本評価書「平塚市自然環境評価書（生物編）」は、西部丘陵地域の自然環境を評価し、自然環境保全を図るための基礎資料として発刊しました。

評価の結果、いわゆる里山、谷戸に代表される座禅川上流（Ⅰ）や、奥山を思わせる鷹取山山麓（Ⅱ）の評価が高くなる一方で、人の利用の進んだ不動川中流（Ⅵ）などの評価は低くなっています。

ただし、本評価は西部丘陵地域内での相対評価であり、たとえ評価の低い地域であっても、市内のほかの地域と比較すれば、はるかに豊かな自然環境が残されていることはいうまでもありません。



## ■評価の概要

また、座禅川上流地区（Ⅰ）と、鷹取山山麓地区（Ⅱ）は、同じA評価でも異なる自然特性を持つ地区です。今後この環境を保全、維持することに努め、さらに緑の質を向上させるための手だてをを考えていく必要があります。

前項の大地区でA評価であった座禅川上流（Ⅰ）や鷹取山山麓（Ⅱ）の中に含まれる小地区のうち、a評価の愛宕山や松岩寺周辺の地区（1, 2, 12）は、大地区の評価を押し上げた重要な地区であるといえます。一方、評価の高い大地区の中に存在する、評価の低い小地区は、現在良好な状態であるとはいえません。このような地区には良好な自然を取り戻す手だてを講じることが望まれます。

自然	場	緑の質	生物
☆☆	●●	●●	●●

自然	場	緑の質	生物
☆☆	●	●●	●●



自然	場	緑の質	生物
☆☆☆	●●●	●●●	●●●

#### 自然の評価

- ☆☆☆☆ A 大変良好な自然環境が存在する
- ☆☆☆☆ B・C 良好な自然環境が存在する
- ☆☆ D・E 自然環境にやや乏しい

#### 場の評価

- A 地域の骨格になる地形や中核となる緑がある
- B・C 比較的まとまりのある緑がある
- D・E 緑地は存在するが少ない

#### 緑の質の評価

- A 自然度の高い植生や水系が存在する
- B・C 自然度は高くないが存在する
- D・E 質の高い植生や水系に乏しい

#### 生物の評価

- A 豊かな自然環境を指標する
- B・C 比較的豊かな自然環境を指標する
- D・E 自然度の高い環境に生息する種は少ない